

軽米町百人委員会第2回はつらつ子育て部会議事録

○開催日時：平成30年9月28日（金）午後6時30分～8時

○開催場所：軽米町役場 3階会議室

○出席者

委員：20名中11名出席

事務局：健康福祉課 坂下、角田、山下
教育委員会事務局 工藤、寺地
総務課 吉岡、梅木

○開会 副部会長

1 部会長あいさつ

（部会長）こんばんは。お忙しい中参加していただきありがとうございます。前回は町ぐるみの子育て支援に対して、それぞれ子育てを通じて困りごとや悩み事、要望など感じていることをたくさん話していただきました。今日はその中からいくつか絞りたいと思いますのでよろしくお願いします。

2 議事

（1）第1回目の内容確認

（事務局）第1回はつらつ子育て会議で出た意見の確認。手元の資料を読み上げる

（副部会長）補足して話しますと去年の12月に全体会議をやっておりまして、皆さんの中にも出席の方がいらっしゃると思うんですけども、その時に町長からの報告書のようなものがありました。前向きなコメントを出していただいてまして、子育て支援については病児保育、一時保育、一時預かりについては執行していきたいと。若者が定住する施策もしていきたいと文章が載っておりまして、私たちの意見が前向きに反映されているなど感じております。公園が軽米に必要とされているのではないかと意見が多く出されておりまして、それは郊外では普通の公園という考え方もあるし、一戸町の子どもの森というようなものを希望した方もいらっしゃいましたし、植物公園の遊具のスペースのイメージというような意見もあったかなと思います。前回については町の郊外で遊べる公園のイメージがみなさん強かったと感じています。事務局で書いてくれたものにはなかったんですけども、入浴宿泊施設。軽米町には盛んなスポーツ大会がたくさんあり遠方から朝4時、5時から出発して疲れて帰っているので、宿泊施設があれば前泊や当日泊ができる選択ができるし、入浴施設で汗を流して帰ったりするのもいいのではないかと話題でも盛り上がったところもありました。

（2）テーマ「町ぐるみの子育て支援体制の構築」について

（副部会長）今日は箇条書きのように具体的に決め、もう1回会議があるのでまとめたものを見せてもらいこれでいいのかという形にし、全体会議の発表の場にもっていくようになるので、今日は限られた時間で絞り込んでいきたいです。一つのポイントが、町ぐるみの子育て支援体制ということですので、役場だけに期待して役

場だけに動いてもらうのではなく、いかに町民自らのそれに参画していくかというところも頭に入れていただければと思います。まとめれば3つ4つに絞られてきているような感じもするので、決して難しいものではないかなと思っています。みなさんの方から意見を聞いていきたいと思っていますので、このところは譲れないという意見がありましたら聞いてみたいと思います。

(委員) 子どもが遊ぶ公園があればいいなと思います。子どもが集まる場所は向川原の河川敷で集まって自転車がいっぱいありゲームをしている。円子ではトイレがあるところにゲートボール場の隣に公園があるんですけどもそこに集まって遊んでいる。商店のところにガラス越しにみんなで集まってゲームをして遊んでいる。集まって遊ぶところがあるんですけども、もうちょっと遊び場所が増えるといいのかなと思います。

(委員) 今の方が話したように、遊べる場所＝親が安心して子どもを遊ばせることができる場所と、長い目で子どもたちが軽米に長く住んでもらえるように今から1回目の意見でもありましたが、行政だけでなく小学生から高校生いろんな年代の方が聞いたり話したりする機会があればと思います。

(委員8) 公園が欲しいと思うんですが、ただ広い場所が欲しいのか、遊具があった方がいいのか。それを作ったとしても維持管理してくるのは行政なのか近辺なのか。夜の公園に行って花火などその使い方を指導する親御さんたちの協力体制と支援体制、学校とか出てくると思います。県で医師になるための補助金が出るらしいんですけど県立病院の医師になればその補助金が何年間か働けば免除になるという補助金がスタートするらしいので、それと同じように軽米町に貢献してくれるのをやってくれそうな子をピックアップしてその子に対して投資をするというような補助金制度があってもいいのではないかと思います。みんなが帰って来れるような教育も必要だと思う。都会の方が楽しそうでいいんだよというイメージが湧いてきているようだが、自分の地域をどのように活かすかという考え方を定着させるような教育も必要になってくると思います。

(委員9) 公園というのはあるが目線が小さい子だけ。それよりは議題にあるように中高生と一緒に遊べる体育館の開放やトレーニング施設が欲しい。そうすればいろんな年代の人が来るのではないかな。偏りだけであげてしまうと、公園に親が連れて行きましたが親はただ見えています。ということになると行かなくてもいいのかな、その辺で遊ばせていけばいいのかなと思っています。私の実家の方は下で子どもがバスケットをやり、上で親がトレーニングする場所がある。周りに散歩するコースもあります。町民体育館にトレーニング施設があって周りで散歩や花見をしたりできる一環施設。そうすれば、お年寄りから小さい子までみんなであの子の親でっていう交流ができるのかな。私も外で仕事していていずれはこっちに戻ってこなきゃと思いつい仕事どうするかなと大野の方に仕事に行っているんです。人口減らせないと思いついこっちは来た。いろんな行事に参加しているが中心となる軽米町民が出てこないのが腑に落ちない。周りの地域の人、祭りにしても軽米町でやってます。軽米町民出ません。他から引っ張ってくる話にならない。集めに来るが大きい顔されるのが腑に落ちない。人手がないからなんとかして貸してくれないかというのが多々見られた。

(委員10) 町に戻ってくるような、町に貢献してくれるような職業についてくれる方へ

の支援はいいことなのかなと思います。トレーニング施設の他に花も植えたり、交流駅を一体化したりそういうのはいいかなと思う。今からそういう施設をつくる予定があるわけなので、そこはいいなと思った。私の子どもは今中学3年生の受験生で軽米高校、他の高校を考えているが、軽米高校は普通科なのでそこを卒業して就職してなると就職先が限られてくる。専門的なことを学ぶとなると専門学校、大学に行かなければならない。お金の面でも大変なので専門的なものを学べる学校に行ってくれたらいいな。そうするとどうしても軽米高校ではないところに行かなければならないということが出てくる。高校で専門的なことを学び卒業して就職となっても実際周りの人から聞くと、県内でもアパートを借りて就職するというのは高卒では本当に厳しい。アパートを借りて自活するっていうことは県内では難しいということになると、家から通って仕事をする。もしくは、アパートを借りてもやっていけるぐらいの収入を得られる他へ逃げていくしかないという現状がある。それを考えるとここに残るための魅力、仕事、明確なこうなりたい、こういう職業に就きたいというものが無い限りは、子どもを引き留めて残せるかなと考えると残せないかなと感じているところです。今、現実問題。私の意見としてはまとまっただけではないですが以上です。

(委員 13) 公園とか、小学生の低学年的な感じでこれから新しい施設ができるわけですけど、お年寄りの方と子どもたちと交流して遊べるような部屋、公民館などでもできれば孫と遊ぶようにお年寄りも喜ぶと思う。公園といっても各地区に軽米1つ2つあれば。あまり遠いに行けない。円子でも公園みたいに遊ぶ場所があればいいと思う。結果的にお年寄りとお母さんたちがずっとつかなくてもそういうところがあればいいと思う。お年寄りたちと交流できるような安心して遊べる場所があればいいと思う。

(委員 20) 提言ということになれば公園が欲しいことは外せない気がします。向川原は狭いとか軽米には遊ぶ場所がないとか、いろいろ子どもが安心して遊べる場所がないという公園のことについては出されているので、公園を作りましょうとなると時間は相当要する。土地、予算いろんな話になると思いますが、とりあえず独りよがりの私の意見なんですけど、土日で園庭開放できないかなと思う。町の財産ですよね。幼稚園でも保育園でも町の財産。それをどうにか、子どもたちが使っているときは遠慮しないといけませんが、土日とか休みの日の連休は開放して遊ばせる場所がそういう風になれば時間をかけなくても。開放ですよ。連れて行った方は小さい子は親が同伴で行って責任を取るようにして。ボール遊びをしてもしガラスを割ったら弁償してください。チェックして自分たちで会議をする。なにかあったときはそういうことをするよ。犬を入れると月曜日に子どもたちが困るのでそういうことはなくする。そういうあまり厳しいルールを決めると子どもたちが遊びにも入れなくなるので最低限のことだけを決めて、開放してもらえれば子どもたちがいない時で連休や土日でどうにかうまく使えるのではないかな。ある程度遊具もあるし。低学年くらいまでだったら。高学年は物足りないと思うが集まってゲームでも集まる場所ができるのではないかな。すぐさっとできそうかなと感じます。なきにしもあらず。

(委員 19) 公園もだが、若い人がいないと子どももいない。学生もいない。高校に入る人も少ないと悪循環。軽米高校が悪循環な気がする。子どもが軽米高校に入るとき

最初は軽米高校に行かないと言っていた。やりたい部活が軽米高校にないから違うところに行くと言っていたが、軽米高校に行った。ないのであれば自分で作ればと言ったら、男子バレー部を立ち上げようとしたが人がいなく、野球部すら揃わない。結局女子バレー部のマレージャーとして3年間終わったのですごく悪循環だなと今思う。

(委員 17) 私も小さい子どもがいて、一時預かりがベースになるが、例えばいちい荘。建物の老朽化とか今後、建て替えたり検討をしているのであれば、いちい荘等の一角に一時預かりのスペースを設けて、シルバー人材の元気なおじいちゃんおばあちゃんたちがいらっしゃると思うのでそういう方たちにみていただいて1時間例えば500円とかで事前に問診票等も書いてもらって。そうするとそこに子どもを一時預かりでもできれば世代間交流にはつながると思う。オフシーズンのフォリストパークは行ってもさみしいので一時的なことかもしれないですけど、軽米町で食フェスタというイベントをやっているのをフォリストパークで開催したら小さい子どもとかは遊具なり広いスペースはあるので自由に遊んだり、臨時バスを運行することによってお年寄りの方とかもチューリップフェスティバルと同じようにバス運行をすれば人は集まるのではないかと思います。高校のことで思ったが、私自身が軽米高校の出身者ではないので、私はソフトテニスをやっている出て行った身なので何も言えないのですが、高校生が軽米高校を維持していかなければ。せつかく県立軽米高校が、人口が減ってきているのもあるが軽米町にあるので。中学生だけでなく小学校の中学年くらいにも軽米高校っていうのはこういうものですよと情報が入ってくると高校をイメージしやすいのではないかな。軽米高校のPRを小学生くらいからやってもいいのかなと思います。

(部会長) 公園が欲しいですね。前にやっぱり子どもたちを見ていると、集まってゲームをやっている人、お店の中で休みの日だとゲームを夕方までやっているのもっと体を動かして遊ぶ場所があればいいなと思います。自転車も町の子どもは乗る場所がないから、家の前をスーッと行くと、こっちから出ていくのもまっすぐしか見ていないのでぶつかりそうになり危ないよと注意する前に行っちゃうので、自転車でも楽しく乗れるような場所があればいいのかな。ゲームだけではなくて体を使って走ったり昔みたいに鬼ごっこをしたりみんなで遊べるような場所があったり。無言でゲームやっているよりはいいのかなと思います。公園が欲しいですね。遊具よりも広場がいいのではないかなと思う。缶蹴りやみんなで遊べるような場所。この間の自転車は本当に危なくて町の中に住んでる子は家の前で走るだけだから歩いている人にぶつかってしまうし、ここで一旦止まらなければだめだよと言っても前しか見ていないので、横から来る人お構いなしで真っすぐ行っちゃうので危ないと思う。自転車に乗るにも注意してほしい。怪我してからでは遅い。公園というのは入れましようか。その中からどうしたらいいかというのを考えていったらいいのではないですか。これが欲しい、あれが欲しいというので少しずついくつでも挙げてもいいと言っているが、そんなにできるものでもないし、公園というものは上げてもいいと思います。

(副部会長) 事務局に確認したいが、去年の12月に全体会議でやり、また、その時に全体会議でこちらから発表した病児保育の入園前の一時預かりを充実させてほしい。若者世代の方々が定住するための住宅のようなものに対して町長からのコメント

でこれは前向きに検討していきますという回答やり取りがあったのですがこれは
完結したという考え方でよろしいでしょうか。

(事務局) これからってことですよね。一時預かり病児保育にしてもこれから体制を整え
ていきたい。若者住宅についても、今町営住宅を建てているのですぐに違う住宅
にはいかないが、今後考えていくということだと思います。

(副会長) 2年目の今回の提言からそれを外していった方がいいのですか。

(事務局) 去年は中間報告的な報告なのでもう一度話してもいい。

(副会長) 最近盛り上がってるのは公園とか軽米高校で盛り上がっているんですけど、
去年あたりで盛り上がっていたのが病児保育。一戸町に負けないような若者の定
住を目指す促進住宅とかそっちも思いださなきゃならない感じではありますね。
そうなってくると、4つ5つくらいにいい感じに絞られてきているのではないかな
と思います。今日はみなさんの方から出たのは公園です。良い公園があるとい
うことが提言の中にある一つに間違いなく入れていいのではないかと思っていま
す。軽米高校、これは2年越しでいつも消えないテーマとして残っているので今
日も3名くらいの方が軽米高校のことについて発言してくれたのでありかなと思
います。1年目の時に盛り上がった一時預かり病児保育というのは町長も前向き
な姿勢をさらに進めていってくださいというふうに背中を押すような提言もある
なかと感じます。若夫婦定住の促進住宅とかそういうサービスを可能性としては
あるのかなと思います。そして、入浴宿泊施設は盛り上がり消えたりしてい
ますけれども、その辺の可能性も一つとしてあってもいいのかなと思います。良
い公園を作ってほしいという形で、前回とは人が集まるような雰囲気というか、
現実の可能性として保育園の土日開放。建物的な1階2階を有効利用したという
意見が出ていますが、どのような提言にもっていったらいいのでしょうか。

(委員9) 公園ではなくても、実家の方の話なんですけど、川をブロックで流れを緩やか
にして遊べるように浅くして魚とりをしたり、流れていかないように転んでおぼ
れてもブロックで絶対ここで絶対止まれるなという遊びもあってもいいのかなと
思う。せっかくこれだけ川もやっているのもったいない。誰も川遊びをしている
のをみたこともない。あれだけ流れ早いので遊べない。小軽米でも遊んでみた
んですけど。散歩して、川をのぼって見たが流れが速くて小さい子だと足をとら
れてしまうんですね。軽米でいけばしっかり訓練して浅瀬にして流れを弱くして
遊べる施設があればいいな。そうすれば遊具とか作らなくても川遊びしたりがで
きる。魚とりも。ちょっと泳いだりできるくらいの。1メートルあるかないか
くらい。

(副会長) みなさんの中で一番多いようなイメージは何となくみんなが集まれるような
公園というイメージもあったが、そういう公園ができるとなると管理は誰がして
いくとかというようなことなんかも実際話された方もおりますけれども、公園の
管理についてはどのような感じで提言に結び付けていったらいいと思いま
すか。

(委員) 遊具をつけるのであれば地区で出してくれたところで見てもらう。町で遊具を
つけるのであれば、メンテナンスをしていただければ助かる。でも、その使い方
に対しては連れて行った親がしっかりとみて破損された場合はもちろん弁償しな
ければならない。その辺は常識的なことで捉えていいかなと思うんですけど。も

ちろん公園の使い方もどこの公園に行っても一応看板が立っていますよね。使い方に関してとか、事故が起きた時にはに関して責任は問いませんみたいな看板がどこでも立っているので、それも立てて自己責任という形で。遊具をつけるのであれば。遊具をつけない場合は、グラウンド的な場合であれば整備といったものは使った人が配慮するというのは部活的な感じですよ。どの部活でもグラウンドを使ったところは、グラウンド整備をして帰るという一応暗黙的なルールがあるのでそれを定着させていく。自転車の乗り入れとかが良いのか悪いのかにもよってまた変わってくると思うので。サイクリングコースでもあればまた別なんでしょうけど。

(副部会長) 何か公園のみんなで行う管理のイメージのあたりではありませんか。

(委員 6) 川の話とかサイクリングの話とか、川の向川原側と荒町側と朝歩いたことがあります。とても歩きやすくいいなと思って私は歩いていたんですが、管理というか所々はがれていたりするのでウォーキングがてら良く見えて悪いことができないと思うので、そこがウォーキングコース、サイクリングコースになったら理想でしたし、管理はやっぱり一般の人がやるには難しいと思うので、いろんな方法を使って行政にお願いをして、いろんなところに頼んだりというような形で、きれいであれば誰もが行って遊びたくなる、使いたくなると思うので。汚いと管理が悪ければ誰も行きたくないと思う。見晴らしが良くて素敵なところであれば、老人クラブの方々に花を植えてもらったりというようなものが理想だと思います。先ほど川のお話をしていましたが、川で遊んでいる子どもたちは今いないです。5年、10年前はいました。雪谷川でみたことがあります。腰、胸まで入った中学生が魚捕りをしていて、それはちょっと危ないのではないかと思ったので、あの大きい川は無理ですね。遊ぶのは。向川原のほうに支流があるのでそこをもう少し広くして、遊ぶには少し狭いのもっと広くして流されないように緩やかにした場所があったらいいと思う。作っても管理する人がいないと汚くなり誰も行かなくなると思うので、ぜひいろんな方法を使ってきれいに私も使いたいなと思います。子どもたちだけではなく。

(副部会長) さきほども言いましたように、町ぐるみのというところには、役場だけではなく、地域の住民がいかに参加し合いやるかという点では、今の老人クラブが出ましたし、みなさんが協力し合い環境整備し、きれいな公園を維持しようという考え方でよろしいのではないかと思います。ちなみに、この前は中央公民館の駐車場を公園にという考え方があったのですが、それは捨てない。選択しとして河川の公園の開設。あるいは中央公民館の駐車場あたりを町中心の主体公園にする。そして現実的な早期取り組みとしては土日の園庭開放があるという3つの選択肢があるというのをあげましたという感じにしますかね。

(委員 20) 土日だけではなくて、連休とかお休みの時。保育園行事がある土日はお休みですが。保育園もお休みの時とか、もし小学校も貸してくださるのであれば小学校の校庭もそうすると小学生は喜ぶますよね。クラブがあるとちょっとね。保育園、幼稚園はないから。一番私が先生をやっていた時に、小軽米保育園の保護者から解放しないんですかと一番言われました。今、円子児童館は施設になっていますが、園庭はどのように使っていますか。

(委員) 園庭は今創年のたまり場とっておじいさんたちが集まって何かしらニュース

ポーツをやったり、毎週ではないけれど管理する方もいて事務所にはいるんですけど、草刈りは車数台止められる分だけで夏は草がぼうぼう状態。遊具はそのままあるが、錆びていて使えない状態。子どもは円子で管理している親水公園というところに自転車を持って行って遊んでいるんですけど、部落で管理しているので草刈りは年に2回から3回だが、集まるところにゴミが凄く、子どもの人数は少ないが、各家庭でおやつを持たせてもゴミは袋に入れてちゃんと持ってきてねと指導しているが、それでもゴミが凄かったりする。トイレは清掃をしてくれる方を部落の会費から謝礼としてきちんと掃除してくれる方がいるのでトイレは清潔です。公園を作るとなるとトイレが汚いと、遊ばせるのは遊ばせれるがこのトイレを使いたくないと思うとそれだけで人が来なくなる。汚れているところは人間の心理として自分も汚していいんだというようになっていくと乱雑な使い方になってくると思うので、そういうところの管理体制、ゴミ箱を設置したりしてもそれを誰が片付けるのかという問題が出てくると思うので細かい部分になると思う。

(委員 20) ゴミ袋はまず持ち帰ることを主にして。トイレのところが問題。仮設トイレを置きましたとした時もその仮設トイレはみんなで大事にきれいに使いましょうとしても最終的に満タンになったりとかを見たりとかあるからそのところが具体的には。

(副部会長) 公園についてこれは提言の中で出しましょう。ということで、出し方としてはみんなが集まって楽しく過ごせる公園が必要であるという提言を出すのはいかがでしょうか。選択肢としては河川の公園。川をやさしく仕切る。支流をもう少し広げ安全な水遊び場を作る。川沿いなので楽しくウォーキング、サイクリングコースでお互いに怪我をしあわないようなコースを整備してく。川沿いのイメージ。それから中央公民館の駐車場を公園にして、駐車場を近くの空き地にまた代々するという。それから、公園となりうる環境を活かすということで園庭校庭の条件付き開放という。こういった選択肢の中でちょっと考えていてくださいというものを提言につなげたいと思います。一つ決まりました。軽米高校の良さを小学生や中学生たちに伝えていくべきだという意見が3名の方から今日出たので、提言の中に入れてよろしいですか。軽米高校の存続の応援というイメージになると思いますけれども。すでに1時間経ってしまいましたので、提言の箇条書きをポンポンとさし決めてそれに味付けをしていけば8時までには終われると思います。去年の提言の柱が全体では病児保育、入園前一時預かりを改めて入れる。これで3つ目になりました。町長のコメントで若者定住のためには若者世代の住宅をこれからしっかりと検討しながら安い料金で住めるような住宅の整備に努めるように進めていきたいと書いていますので、もう1回出してさらに町長の背中を押ししましょう。若者世代の住宅の補助をはじめとしたそういう政策を押し進めてくださいという。これで4つになりました。あとは私が気になっていることは、一頃すごく盛り上がった入浴施設、宿泊施設を外して町長を楽にしてあげるか。これは夢とし実現するかしないかは別として良い夢なのであえて出させてもらうということにして提言にあげるかといったあたりの意見を聞きたいのですが、ちょっと任せますかスポーツ班の方に。私たちからもあげますか。

(委員) そっち関係と全部ひっくるめてこういう施設があればと出してみるのがいいの

ではないか。

(副部長) 5つ目として入浴宿泊施設。この5つになりました。もう一度確認しますと、みんなが集まれる楽しい公園。軽米高校を盛り上げていくための応援。病児保育入園前一時預かりの充実。若者世代への住宅補助をはじめとした応援施策。入浴宿泊施設でせつかく軽米町には大きなスポーツ大会が盛り上がっているの、それに乗っけていくという5つのことが出されました。これも加えてほしいというものがありましたら6つ目として出しますけれども。

(委員) 5つの中でのことなんですが、若者の住宅のところで私の勝手な意見なのですが、町営住宅を充実させるのではなく町営住宅を造るのではなく、空き家も増えているので古い新しい比較的いろいろあると思うが、イノベーションをして月家賃いくらかという。例えば5年から10年定住するというようにすれば、10年以上住むという確約があれば家賃を払ってもらいつつそのあとに最終的にその人たちの持ち家にできるというそういうものもあっていいのかなと。子ども一人につき3000円割引しますとか。イノベーションしたりとかすると予算的なこともあると思うが、そういうものもあっていいと思う。空き家の軽減にもなるし、繋がっていくのではないか。定住しやすい。負荷がない程度の家賃設定。町営住宅よりはちょっと設定が高くなってしまおうとは思いますが。最終的に持ち家になる土地になっていけば違ってくるのかなと。これが私の考えです。

(副部長) 素晴らしい。具体的であるとしても現実的で空き家問題は全国的にも社会問題になっていますからね。見知らぬ人がそこに住み込んで隠れて住み込んでいたりとか、あるいは子どもたちが危険な遊びをしたり火事になったりするかもしれないし。何よりも人が住んでいない家はどんどんさびれてすぐにも住めないような感じになるので。実際みなさんの地域でも空き家がうまく活かされて別の方が買い取って入っているというようなことも目にしていましたので、これからこれはどんどん空き家問題は増えていくだろうという情勢もありますので、とてもリンクしていて私もいいのではないかなと今聞いていました。ぜひ、具体的な方法として町営住宅とか、町営住宅を新たに作るという発想ではなく、現在の町内の空き家を活かしながらやってみるという方法もありますよということを加えていきたいと思います。

(委員) それにもう少し付け加えてもいいですか。今、メガソーラーとかガンガン作ってそこで雇用を生むとか言っていますが、作るのは雇用だけではなく電気も作っているのだから町に住めば電気代をタダにする的なメリットがあれば誰でもくると思いますよ。光熱費のところで出費が抑えられるのであればそこに住んでもいいかなという感じになると思うし、もし住んだ家で暖房が設置されて電気で賄えるのであればそれもタダだったらなおさら住みたいなとなると思うし、さらに言えばロードヒーティングにして雪かきなしにすればいいという発想もあれば、最高に住みたい。夢の話ですけど。

(副部長) 特に軽米町では今メガソーラーで頑張っているというものをすごくアピールしているのでメガソーラーのコマーシャルにもなりますよね。そろそろ。若者の住宅補助というものが今流行りの中でそれに軽米の持ち味というかメガソーラーを上手くリンクさせるというのはいかにも全国的に、すごいなというインパクトが与えられますね。

- (委員) 理想の道路は、道路に全部ロードヒーティングを入れても除雪もしない町になってしまう。
- (副部長) メガソーラーから電力を補助すると言うような具体的な提言をします。やるなと思われるかもしれませんが。いきいき子育て部会。相当話し込んでいるなど。その点FM岩手で軽米の特産品をメインキャスターが言っていて、軽米だけひいきしているのではないかというくらいFM岩手で取り上げられていますね。みなさんの方から今出た5つの中で具体的な意見を吸収して今日は終わりたいと思いますが。例えば軽米高校の盛り上げ方というのは高校生と小中学生を引き合わせてお兄さんお姉さんがいる高校に自分たちも行くんだろうな、行きたいな。同じことを勉強を学びたいなと思わせられると思う。例えば文化祭の模擬店の300円分の券を中学生に無料配布する。そうすれば結構。そういうのって。
- (委員) 高校の文化祭の模擬店でそれをやるのは結構大きいですよ。
- (副部長) なんでも買える。今軽米中学生が210人くらいだったかな。6万円。たった6万円でごやごやと中学生が行ったら多分役場もお金を出してくれるのではないかなと。あるいは、軽米高校を守ろうというのは全町民的なことになっていますけれども、子どもたちだけではなく商店街のおやじさんたちに文化祭にあがってきてテントで模擬店やってくれと。ちょっと物産展みたいな感じに。文化祭を+αでパワーアップさせてしまうとかそういったあたりもアイデアとしてどうか。皆さんどうですか。
- (委員) アイディアではないですが、軽米高校の卒業生会みたいな東京支部の部会でそこでも存続したいということで、オリジナルTシャツを作って販売とかしていたみたいです。
- (委員20) 地元にいるより出て行った方々が軽米高校を思っているみたい。そういう同窓会あたりも東京の方が集まるらしい。地元はやっぱりふるさとへの思いというのはここにいるから分からない部分もあるかもしれない。出て行った方々がふるさとへの思いを強く思っている。
- (委員) 月一くらいで集まっているみたい。年代関係なく100人くらいの規模で集まっている。オリジナルで軽米高校を応援する会のTシャツを作って販売しているみたいです。
- (副部長) この前中学生たちがどのような思いでいるのか、どうして軽米高校を敬遠したいとなっちゃうのかアンケートでもとってもらいたいという意見がありましたので。ここはかなり微妙なアンケートになり兼ねないので提言としてそういう子どもたちの意向を探るようなアンケートをとってみてもいいのではと。逆に提言の中に入れてやるという方法もあるかもしれません。やっぱりアンケートなどから彼らの声を聴いてみると思わぬ解決策が生まれるヒントが隠れているかもしれないのでその辺も提言の中に入れましょう。7時45分も過ぎましたけれども、みなさんの方からできれば町だけに頼るのではなくて町民住民も参画するようなイメージでさらに具体的に今までたくさん出たような空き家を活用するとかそういうアイデアとかありましたら出してもらいたいと思います。
- (委員) 公園の話に戻ってしまうんですが、メンテナンスのボランティアを募集するというのはどうなんでしょうか。募集の方法をかるまいテレビを使うといい。結構見ている人が多いのでいかがでしょうか。

(副部会長) そういう取り組み自体がみんなで作る公園になりますね。今までになかったパターン。トイレなんかすごくきれいだといいですよね。ちなみに、病児一時預かりについて認定子ども園にという意見も出たりしましたが、これについて背景としては建設当初の想定よりも0～2歳児の人数が増えてきており、当初予備室として作られた部屋もそれらの保育室にもっていった現状なので、病児保育とかを既存の保育園とかで受け持つとなると建物の増築等も出てくるというような背景とかも聞こえてまいりました。その辺について民間でNPOとか何か斬新なアイデアがありましたら。また、上手く活用すれば既存の施設でも増築しなくても確保できるイメージはありますか。

(委員 20) 認定子ども園の話が出た時に、イメージ的に保育士が足りないということもあって、子ども園にしてそしたら、保育士、園の数も足りてきて病児保育や一時預かりも当たれることになるのではないかなと話もちらっと話されたような気がして聞いてました。保育園とかでできないとなるとNPOとかにそういうことも考えたりどなたかにやってくださる方がいればお願いする感じになったりするかもしれないです。工夫すればできなくもない。全員ではないけれども。

(副部会長) 退職保育士の会とかはどうですか。私たちがやろうとかありますか。退職保育士の会とかあるでしょ。

(委員 20) それを立ち上げなければならぬと思っていました。退職教師の会というのがあるんですよ。女の先生方が退職した会はあるのですが、保育士の会というのはまだできてなくて、作りたいなと言っていた先生がいなくなって。会というのはまだないです。

(副部会長) 会がないんだ。ぜひ作っていただいて一番目の企画が病児保育で。病児保育一時預かりは提言として出しますけれども、方向としては認定子ども園にするというような大きな選択肢もするかもしれないし、退職された保育士たちに会を立ち上げてもらって一役。

(委員 20) 病児保育となれば看護師の方が。

(副部会長) 退職看護師の会はある。

(委員 20) そこはちょっと知らない。あるかもしれないですね。その辺も退職看護師、退職保育士幼稚園の方が。

(副部会長) ちょっと言葉の、軽くプレッシャーを与えるかもしれない。軽米町の方でも認定子ども園の勉強をしているようなこともお聞きしているので、あまり深くはやれと言わないで、可能性として認定子ども園を合併とか退職看護師の会、退職保育士の会の活躍を期待するということなところもちょっと入れていったりしてもいいのかなと思います。あとはみなさんから何かこの辺もちょっと具体的なアイデアがありましたら意見を設けましたけれども何かありますか。

(委員 9) 仕事で管理している部署で仕事をしているが、なんでもかんでも人に預けるといっても難しいんだろなど。役場の人にしても、なんでもかんでもこっちに言われても困ることもあると思うんですが、こっちも上げるにも上げないと話しも進まないだろうしその葛藤だと思うんですよね。予算のやり方もありますでしょうし。町の人にどれだけ声をかけられるかどうかですよね。という中で町民の接する場面が増えればいいのか。

(副部会長) 町の人にどれだけ声をかけられるかがポイントになってくるというような革

新を得た言葉を言っていただいていたありがとうございます。では5分前になりましたので、終わりたいと思います。

(3) その他 提言発表者について

(副部長) これはどういったイメージでしょうか。

(事務局) 去年の中間発表の時は副部長さんがやったので、今年は部長さんをお願いできればなと思っていたので、よければ部長さんの方から発表してもらってもいいかなと。我こそは発表したいという人がいれば別ですが。部長さんでいいかなというところで確認をしたい。原稿等については事務局で次回少し示して読みながら見てもらって付け加えたりして作って話をしてもらいたい。最終的には報告するには事務局と部長さん副部長さんで最終原稿を作って発表するというようなことは任せてもらいたい。次回案を出して皆さんから見てもらってという形にして、要は部長さんでいいかなというように考えていたのでそこを部長さんでいいか確認していただきたい。

(副部長) 私もここまで出しゃばりすぎたとかおいしいところを全部持ってきてやらせていただきましたので、最後の提言発表のところはできたらぜひ部長さんをお願いしたいという気持ちがありますけれども。みなさんの方で今回は私がぜひやらせてもらいたいという方がありましたら。

(委員 20) いいと思います。部長さんで。

(副部長) 資料を読み上げるだけなので、いざとなったら私が書いたものを読み上げてもいいので最後は部長さんが。部長という立場で大変プレッシャーを感じながらお願いします。もう一度全体発表の前に集まるそうなので今日いろいろ出た意見を事務局さんの方が中心になって文章をまとめてくれると思いますので、これでいいかという感じでみんなで読み込んで2年越しの最後の目標で出し、はつらつ子育て部会はなかなかいい討論が進んでいたんだなと他の方々から思ってもらえれば、こんなに嬉しいことはないと思いますので、そういう進め方を期待したいと思います。事務局の方から何かありますか。

(事務局) 次回は10月の下旬の方に設定したいと思います。時間もこの時間帯でやりたいと思います。あとは、部長さん副部長さんの日程等で決めたいと思いますので次も参加の方をよろしくお願いしたいと思います。

(副部長) それでは、ちょうど8時ですのでこれで終わりたいと思います。みなさんありがとうございます。

(事務局) みなさん本当にありがとうございました。